

⑬ 横浜美術館における文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者): 横浜美術館(横浜市)
文化観光推進事業者: (公財) 横浜市芸術文化振興財団
(公財) 横浜観光コンベンション・ビューロー
(一社) 横浜みなとみらい21

計画期間

2020年度 ~ 2024年度 (5年間)

目標

- ・美術館来館者数
2019年度816千人→2024年度1,000千人 (+184千人)
- ・美術館コレクション展来館者の満足度
2019年度 4.29%→2024年度 4.5% (1.05倍)
- ・外国人来訪者数
2020年度 3千人→2024年度 30千人 (+27千人)
※10年後(2029年度)には40千人
- ・美術館認知率
2019年度 47.8%→2024年度 50.0% (1.05倍)

文化観光拠点施設機能強化事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- ・ナイトタイムエコノミーの活性化のため、美術館ファザードのライトアップを実施

<2.文化についての理解促進>

- ・スマートフォンアプリなどで作品解説を多言語で対応

<3.文化観光に関する利便の増進>

- ・チケットレスで事前に決済できる時間制来館者システムの導入
- ・MICE等でのユニークメニュー対応のための改修

<4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- ・美術館の収蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズの開発

<5.国内外への宣伝>

- ・訪日客向けに来訪意欲を喚起するようなWEBサイトを構築
- ・周辺観光資源をつなぐマップ作成、ツアー実施

<6.施設又は設備の整備>

- ・バリアフリー改修、Wi-Fi整備

文化クラスター推進事業費(5年間の計画ベース)

443百万円(うち、補助金234百万円)

計画区域

みなとみらい21エリア



三溪園
(国指定名勝、
重要文化財建造物10棟)

横浜市開港記念会館
(重要文化財)

「岡倉天心生誕の地」の碑

中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設